

各位

大和証券グループ本社

2020年 中田社長 新春ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年、大発会において20,000円を下回り取引を開始した2019年の株式市場は、米中貿易協議の第一段階合意や、英国の下院総選挙における与党・保守党勝利による「合意なき離脱」の回避見通し等を受け、日経平均株価は12月に年初来高値である24,066円をつけ、2017年10月のバブル後最高値24,270円まで、あと一步に迫るまで上昇する等、世界情勢の影響を大きく受けた1年となりました。

また、我が国においては新元号「令和」と共に新たな時代が幕開けした記憶に残る年でもありました。

大和証券グループとしては、中期経営計画“Passion for the Best”2020の基本方針である「クオリティNO.1のコンサルティング力による付加価値の高いソリューションの提供」と、「ハイブリッド型総合証券グループとしての新たな価値の提供」の深化を進め、一定の成果を収めた1年でした。

また、経営戦略の根底に取り入れたSDGsへの取組みについても順調に進捗し、その結果として、ESG指数の世界最大手であるMSCI社より、当社のESG格付けが「A」に格上げされました。また、子会社である大和ネクスト銀行が、SDGs推進本部（本部長：内閣総理大臣）から、第3回「ジャパンSDGsアワード」において「SDGsパートナーシップ賞（特別賞）」を受賞する等、外部からの高評価を得ることができました。

本年2020年は、中期経営計画の最終年度を迎えるにあたり、基本方針に則った取組みを徹底的に追及して参ります。デジタルトランスフォーメーションが劇的に進展する中においても、AIやロボットに置き換えることのできない「人」ならではのクオリティの高いサービスを追求し、お客様と真摯に向き合い、考え抜くことを徹底したコンサルティング提案の提供に努めて参ります。その上で、人生100年時代において顕在化する資産形成に対するニーズ、相続対策や事業承継に対するニーズに対しても、グループを挙げて取り組むことで、お客様や社会から認められる「超一流の会社」を目指します。

また、持続的な成長を目指し、ハイブリッド戦略におけるグループ収益の多様化と安定化を図るとともに、お客様に対する新たな付加価値の提供を追求して参ります。

「未来を創る、金融・資本市場のパイオニア」として、お客様や金融・資本市場に価値ある新たな未来を創るべく、グループを挙げて取り組むと共に、共通価値創造を通じてサステナブルで豊かな社会の実現に貢献して参ります。

皆さまにおかれましては、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

本年も大和証券グループをよろしく願い申し上げます。

以上